

タッチパネルの画面に触れずに操作可能にするタッチレスセンサー エアクリック “Air Click”

エアクリックとは？

既存パネルに簡単設置！

PCのUSBに接続し既存タッチパネルの上部もしくは下部に設置するだけ。タッチパネルの筐体等の改修が不要で非接触化

非接触で操作可能！

タッチレスセンサーから出る赤外線によって画面に指を触れることなく「かざすだけ」で簡単に画面操作可能。

様々な対応サイズ！

縦/横：115mm-346mmの画面に対応可能



JAL トライアル実施

←画面上部にセンサーを設置するだけで非接触化を実現

→センサーから出る赤外線が指を感知して触れずに画面を操作



	安全性	コストメリット	メンテナンス
タッチレスセンサー	◎ 完全非接触	○ センサー代のみ	◎ 設置のみ
他社センサー	◎ 完全非接触	× 筐体改修が必要	△ 定期整備必要
除菌シート	△ 殺菌率に不安有	○	△ 定期的な交換
タッチペン	△ 殺菌率に不安有	◎	× 使用毎拭き取り
アルコール消毒等	△ 殺菌率に不安有	◎	× 使用毎拭き取り

意外と汚いタッチパネル---細菌数はトイレ便座の約10倍

- 英Southampton大学のBill Keevil教授(細菌学者)によると、COVID-19はタッチパネル上で数日間生存するため、ウイルスはタッチパネルを利用する何百-何万人を感染リスクにさらす可能性が高い。
- 2018年の調査ではトイレの便座と比較してタッチパネル状の細菌数は10倍にもなることが判明している。
- COVID-19の収束後に利用者数が増え、顧客の使用ごとに毎回スクリーンを消毒するのは非効率的。顧客がタッチパネルを完全に避ければ、搭乗手続きの列は長くなり、従来の人員配置では有人チェックインカウンターを使う顧客に十分に対応できない。
- 上記の観点からタッチパネルは非接触型に急速に移行される必要がある。

出展：How COVID-19 is challenging orthodoxies in airport customer experience/Deloitte